

TSしたボクが親友に

襲われてメスに目覚める話



本当にいれないんだよね…
タケル君…

あ、ああ…
そのちよつと擦るだけだから…

ズ
ン



事の発端は僕の
大好きなタケル君からの
願いからだった……

ボー

え

最初は何でボクなんかに
とも思った……

だっていおり……胸だって……
おっきくなっただし……
それに……何時も何時も……
その、ちかいんだよ……

そ、そうかな……？

そうかもしれない

体つきは幼少の頃より幾分
か変った気はしている。

ムサ

ムサ

最近TS細胞も活性化して、それが
顕著に現れるようになった

だけど……

他の皆と違いタケル君は僕を
僕として見てくれてたから……
距離が近くなっていたのかもしれない。

タケル

タケル

おあい

だからかな……

そう考えると甘えた僕にも
責任があると思い、断り切れなかったんだ。

その……僕も恥ずかしいから……
こ、こいうのは今回だけにしてね……

モズ

モズ

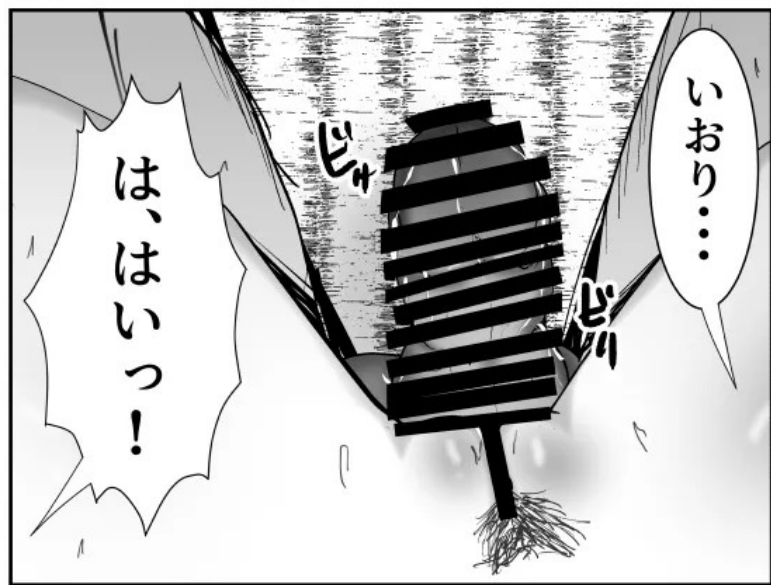
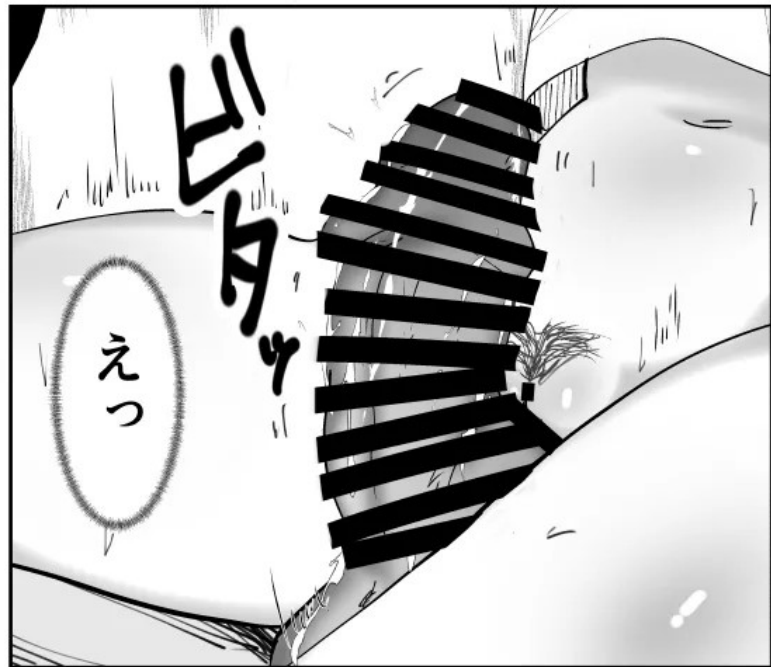
ストゥ

あ、ああ……

何より大好きな
親友からの頼みでもあったから……

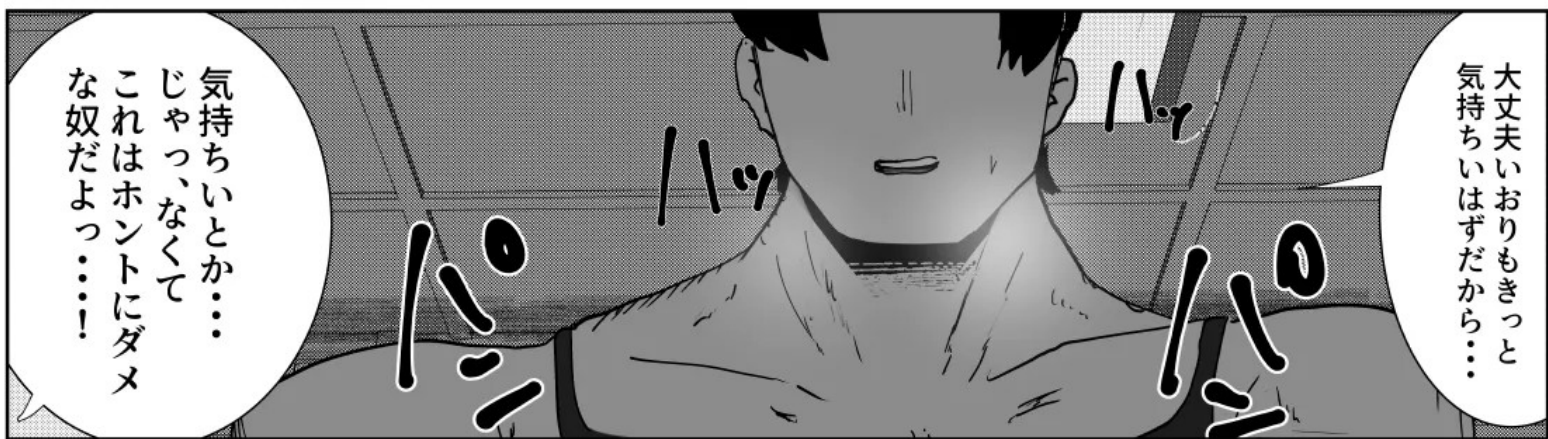


















な、何考えてるのっ！タケル君っ
ね、ねえってばっ！



ほんとにつ！
タケッ...

ダメダメダメッ
だからねっ！



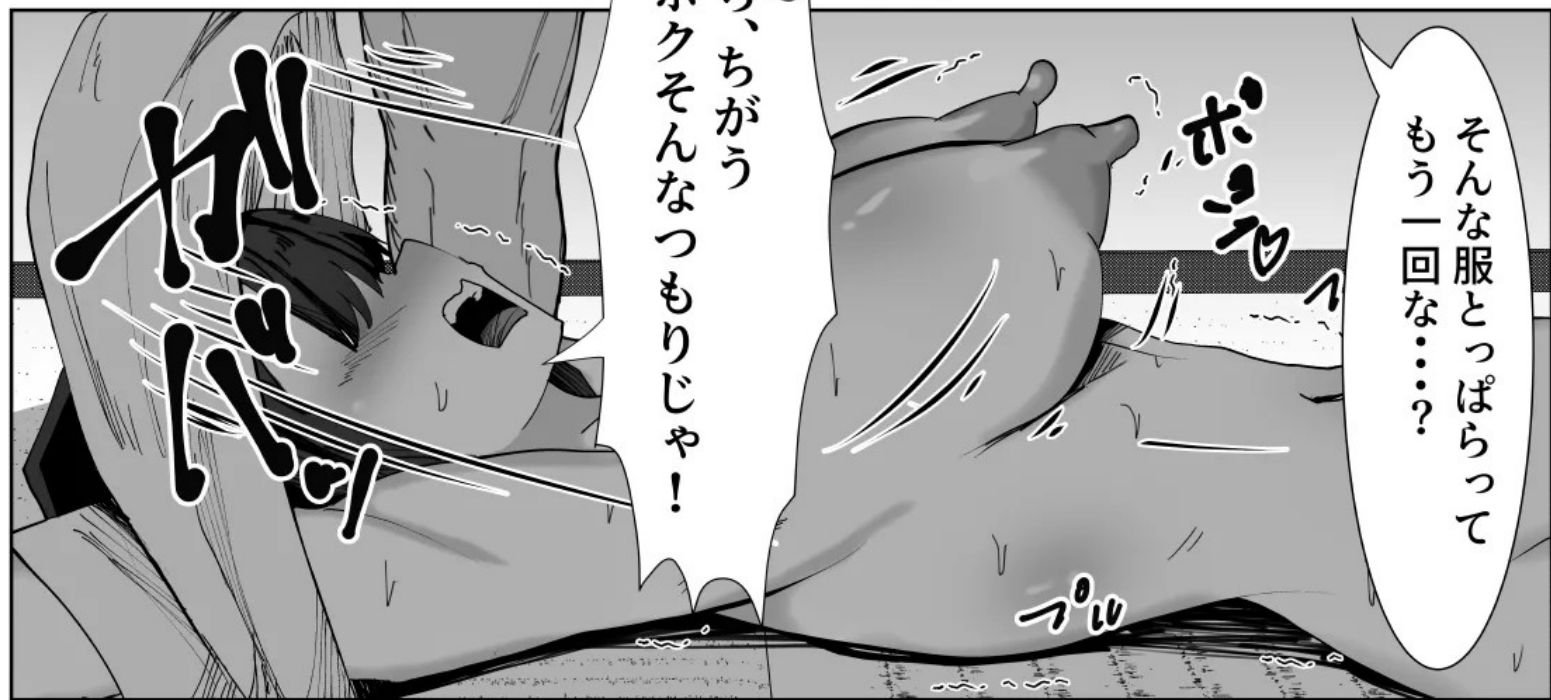


実は俺も一回で収まり
きらなくてな...



ちがつ...

えっ...



ち、ちがう
ボクそんなつもりじゃ！

そんな服とっぱらって
もう一回な...？



や、やめ...

大丈夫
わかってる...



ダメッ
タケル君落ち着いって

中っ中にだしたんだよっ！
こんな事してたら赤ちゃんがっ！



一、二回くらい大丈夫
だろっ…

それに俺もお前も…
こいうの慣れておいた方がいいだろ













はは…ははは…
また…こ、こんなに…

ズン
ッ



あっ、おい！いおりっ！
大丈夫か？

ああ、よかった…
そうやって僕を心配する姿は…
いつものタケル君だ…

タケル君に：：襲われた僕は
もう自分の体女の子なんだと強く
自覚せざる負えなかった……

そしてタケル君とは……

距離を置こうと思っていた……

思っていたんだ……
なのに……

無理やりだったのに……

物みたいに扱われたのに……

な、何でなの……

僕の体は……本心とは別に
雌としての本能が……
目覚めはじめたいた。

おわり